

TGM

倉庫システムで最適化

使いやすく手頃な価格が人気

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)は、イタリア・ミストレロ社製の倉庫システムとして、板ガラス用半自動コンパクトラックシステム、自動素板供給システムなどを販売している。自動素板供給システムは、水平採板搬送機とラックシステムを組み合わせることで、複数の切断機に素板を供給できる。客の要求に応じて最適なラック数、レイアウトなどをカスタマイズでき、従来の固定ラックなどと比較して約25%のスペースで済むため、工場の敷地を有効活用できる。ミストレロ社のシステムはシンプルな設備構成で信頼性が高く、使いやすい点が特長。本場に必要ない機能に絞ることで設置スペースや導入価格を抑えることができると好評で、国内でも実績を伸ばしている。

半自動コンパクトラックシステムは、少数から多数まで在庫する素板の品種数に合わせてラック数をカスタマイズできる。ボタンやレバーで容易に操作でき、素早く安全に必要な素板を取り出すことが可能。既存の固定式Aラックと入れ替えることで、限られたスペース

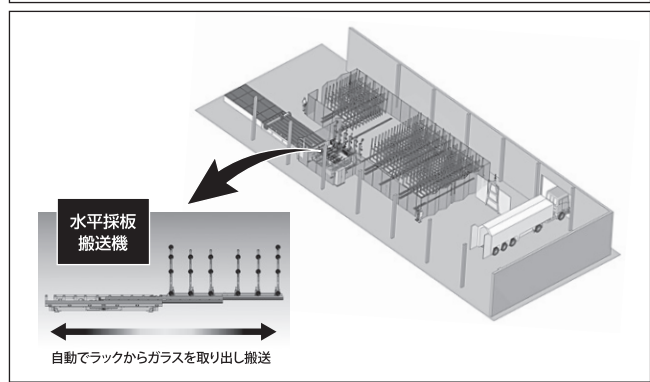
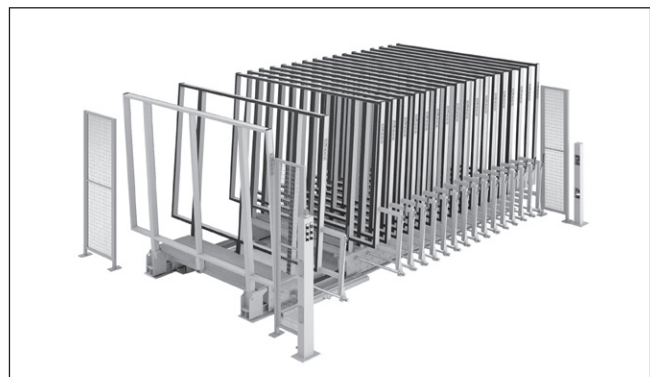
にAラックより多くの品種を在庫でき、在庫数の増加、工場スペースの有効活用を実現する。自動素板供給システムは、水平採板搬送機とラックシステムを組み合わせることで、多様な品種を効率的に在庫でき、複数の切断機に素板を一括して供給できる。従来の

Aラックと4面回転台の組み合わせでは、多品種を在庫しようとする必要がスペースが増え、Aラックから4面回転台への素板搬送が都度必要になっていた。自動素板供給システムを導入することで、素板の在庫から切断機への供給まで作業者の介入を最小限にでき、

在庫スペースや生産時間を削減できるだけでなく、省人化、安全化にも貢献する。既存の切断機にも接続できる。

ミストレロ社は1805年創業。ここ20年は板ガラス向けの倉庫システムに注力しており、毎年2500台以上のオーダーメイドラックを全世界に向けて製造している。過去5年では、水平採板搬送機とラックシステムを組み合わせた自動素板供給システムを、全世界で70システム以上販売した実績を持つ。

同社設備は「コンパクト」「省コスト」「カスタマイズ」「安全性」がコンセプト。板ガラス業界では少量多品種化が進んでおり、ガラス加工工場に在庫する素板の品種が増大している。従来のAラック、4面回転台では在庫可能な品種数に限界があり、多様な品種を在庫するには広いスペース



イタリア・ミストレロ社製の半自動コンパクトラックシステム(上)と自動素板供給システム

が必要になる。こうしたことから、限られたスペースに多くの品種をコンパクトかつ安全に在庫し、工場のスペースを有効活用できるラックシステムのニーズが急増している。